

第16回 新大先端化学セミナー

主催：理学部理学科化学プログラム

共催：ユビキタスグリーンケミカルエネルギー連携教育研究センター

9月22日(金)：9時～10時20分

場所：物質生産棟751室



大阪市立大学大学院理学研究科

塩見大輔 准教授

「分子磁性体の合理的構築法と評価法」 "A molecular engineering approach to rationalized organization of molecule- based magnets"

分子を組み上げて磁性体を作りだすための化学的手法のひとつとして、核酸塩基などの生体分子の特性を生かした超分子アプローチを報告する。また、磁性の新しい評価手法の一例として、静磁化検出による円偏光ESRの開発状況についても紹介する。

連絡先： 共用設備基盤センター 機器分析部門
古川貢 (kou-f@chem.sc.niigata-u.ac.jp)